

国際政治 IV 試験問題

出題：阪口 功

【注意】

1. 授業配付資料、手書きノートのみ持ち込み可
2. それ以外のものを持ち込んだ場合は、試験における不正行為に該当する。
3. 解答はすべて別途配布される解答用紙に記入すること。
4. 解答する際、問題の番号を必ず冒頭に明記すること。(例) A-①、B-②など。

A 以下の問題から 1 つ選択し、講義を踏まえた上で、また自分自身の分析・見解をしっかりと加えて、1600 字程度（上限なし）で解答しなさい。(1 問×100 点)

- ① 平和と安全保障、貿易、開発、地球環境など様々な分野で国際制度の構築が進められてきたが、分野により国際的な取り組みと問題解決の進展度に大きな違いがある。なぜそのような違いが発生するのか、複数の分野を取り上げ比較分析し、各分野において協力を発展させた要因ないし協力を阻害している要因について論じなさい。
- ② 観念的要素が国際関係に与える影響について分野横断的に論じなさい。
- ③ 地球環境ガバナンスの取り組みは様々な分野で十分な成果を上げることに失敗しているが、ガバナンスに向けた取り組みを困難にしている構造的要因を説明し、地球環境問題の解決に向けた方策を提案しなさい。

【講評】

毎年設問はそれほど大きく変えていません。それは、知識の記憶や羅列ではなく、様々な分野におけるグローバルガバナンスを共通の尺度を持って分野横断的に包括的に、構造的に捉えることができているか(①、②)、特定の問題領域における設問においても構造的に、理論的に捉えられているかどうか、が重要になるためです。だから設問が事前に予想できてもよいのです。その予想可能な設問に答える上で、最初の授業で説明する総論が非常に重要です。